

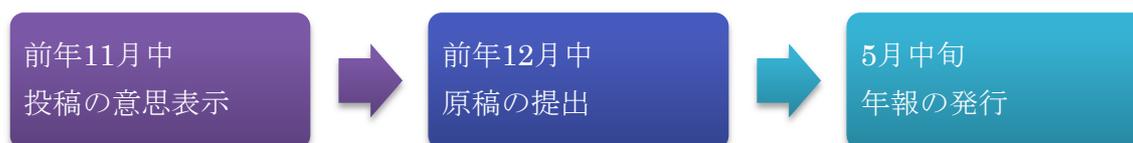
『文明とマネジメント』投稿規定および編集方針

Instructions for Authors for Civilization and Management 2012 II

- ◇ 本誌は年2回(毎年5月, 11月)の発行を予定しております. 編集にあたっては, 内容に多様性を持たせるためにも, 広く会員の方からの投稿を歓迎しております.
- ◇ 論稿の種類は研究論文に限ることなく, 研究ノート, 調査・実践レポート, 評論・書評, エッセイなども取り上げたく考えておりますので, 積極的な投稿を期待しております.
- ◇ 編集計画および査読過程との関係上, 投稿を予定される場合, 5カ月前を締切りに原稿を提出していただきます. 予定される方は, 6カ月前を目安にeditors@drucker-ws.org宛てにメールで投稿の意思を表示し題目を届ける必要があります.
- ◇ なお, ウェブ版の『文明とマネジメント』については年間常時論稿を受け付けております.

■投稿から発行までの流れ

・5月発行の年報に投稿の場合



・11月発行の年報に投稿の場合



※意思表示/原稿送付等の連絡先は、editors@drucker-ws.org宛てに実施のこと

【投稿規定および編集方針】

※本規定および方針は、必要に応じて改訂することがあります。

(1) 投稿資格

- ① 本会の会員を対象とする。
- ② ただし、会の活動に有益と認められる場合、編集委員会の判断により、会員以外の研究者に寄稿を要請する場合がある。
- ③ 投稿原稿は未発表のものに限る。
- ④ 投稿者の掲載名称は実名とする。

(2) 論考の種別・内容

- ① 論文
ドロッカーの知的業績に関する理論的研究ないしその実務面への応用に関する文。
- ② ノート
論文に準ずるもの。例えば、研究テーマ、理論・手法についての着想の提示、研究結果の中間発表、学界・実務界の動向の紹介等。
- ③ 実践レポートその他
例えば、企業経営、マーケティング、戦略論等に関する調査レポート、日常業務から得た実証データの紹介、その他上記に関し特に注目すべき実践事例等についてのレポート等。
- ④ 批評・書評
ドロッカー著作、あるいはその関連書籍あるいは論文に関する評論、書評。

(3) 原稿作成上の注意

- ① 論文
A5判横組、並製、カンマ・ピリオド(.,)使用、数字・アルファベット等は半角、字数1万5000字程度(計表・グラフ類および数式を含む)。本文10.5ポイント、図表、注、文献表記9ポイント。
タイトルは和英文併記とし、本文冒頭に50ワード程度の英文サマリーを添付。
引用部分、注については、原則として文末脚注形式とする。
文末に、略歴を添付。形式は問わないが、概ね「現職」「最終学歴」「職歴」「関心領域」「研究あるいは実務上の業績」等具体的な事実を掲載。
- ② ノート、調査レポートその他
字数7000字程度。執筆方法は上記論文に準ずる。タイトルは和文英文併記とし、略歴は論文に準ずる。
- ③ その他(評論、書評、エッセイ等)
字数4000字程度。タイトルは和文英文併記とし、略歴は論文に準ずる。

④ 選考方法

論文, 研究ノートについて, 投稿原稿は, 執筆者名等を匿名として, まず委員長が予備審査を行い, 予備審査を通過したものについて, レフェリー審査(編集委員または編集委員以外の会員から選定された2名程度)を経て掲載の適否を決定する。投稿された論稿の種別は, 編集委員会の判断で変更を促す場合がある。

⑤ 氏名・住所・略歴等

氏名(ふりがな), 年齢, 住所, 職業(所属会社・機関・大学学部名, 役職名等), 電話番号, Fax 番号, Eメールアドレス, 論稿の種別を本文から独立の表紙に明記。なお, これらは本文中に含めない。

⑥ 送付方法, 送付先, 問い合わせ先

原稿ファイル(WORD 等一般的なソフト)をEメールに添付し, editors@drucker-ws.org宛に送付するものとする。

⑦ 以上, 投稿され, 掲載を可とされた論稿はいずれも原稿の提出をもって編集委員の責任校了とする。

(4) 専門と実務を架橋しうる質の確保・充実

本誌の執筆者・読者は, 研究者, 学生, 経営者, コンサルタント, ジャーナリスト等, 多様な領域における実践の場で活躍している。また, 近年の研究傾向を見るならば, 若手・中堅世代の会員の増加も期待される。このような会員の特性を踏まえ, 各領域, 各世代の読者の知的欲求に応えつつ, 同時に専門誌としての質の充実を図る観点から編集活動を行う。

(5) 論稿の対象分野

P. F. ドラッカーの知的業績全般を対象とし, その分野での理論と実践の架け橋を指向する。「ドラッカーによる知的体系に関する理論面での研究」と「その実践面への応用ないし手法の研究」を編集の主軸とする。いずれも, 実務家の会員に配慮し, 実務の遂行にあたり, 有用な指針を提供するものとなるべく指向する。ウェブ事業との相互補完を図るとともに, 会員との情報共有の手段としても有効活用していく。

ドラッカー学会編集委員会